

**具体的な施策・重要業績評価  
指標（KPI）進捗状況評価票  
【対象：平成30年度】  
（確認用）**

## 具体的な施策・重要業績評価指標(KPI)進捗状況評価票 (対象:平成 30 年度)

基本目標	1	市内産業の振興と起業・創業の推進による雇用の確保
基本的方向	1	市内産業の経営安定化による雇用機会の維持(経営基盤の強化)
具体的な施策	①	市内企業の経営支援
主担当課	経済観光課	
施策概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・むさし府中商工会議所と連携し、経営指導や金融支援などといった経営支援を行い、雇用の確保と地域経済の活性化を目指します。</li> <li>・商店街のより一層の活性化に向けた取組を支援します。</li> <li>・産・学・金・官の連携等を図り、新たな商品開発や人材交流につなげ、市内産業の振興を支援します。</li> </ul>	

### 1 重要業績評価指標 (KPI)

指標名	単位	現状	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度
		目標					
		実績	実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
① 融資実行件数	件	300					
		292	283	252	243	247	—
		/	B	C	C	C	
② 商店街イベント事業補助金交付商店会数	件	32					
		28	30	30	29	29	—
		/	A	A	A	A	
③ 技術相談を行った件数	件	470					
		463	456	407	462	536	—
		/	B	C	B	A	

※進捗 A：目標達成に向け、順調に進捗している。  
 B：やや遅れているが、概ね順調に進捗している。  
 C：遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

## 2 進捗状況評価（担当課）

【平成30年度の取組内容と評価】	
担当課 評価	<p>①事業資金融資利子補助について、平成30年度における制度の見直しは行っていない。過去3年間の申込件数は、平成28年度が304件、平成29年度が285件、平成30年度が314件と増加に転じた。内訳としては、小口事業運転資金が3件の減、同設備資金が8件の減、不況対策特別資金が28件の増、小口零細事業運転資金が9件の減、同設備資金が15件の増、創業資金が6件の増となっている。</p>
B	<p>②イベント事業に対する補助を継続して行うことで、29商店会、延べ46事業分の商店街の活性化等に寄与する事業への支援を継続することができた。</p> <p>③府中市工業技術情報センターへ相談した会社1社当たりの相談件数は平均4件、また、技術相談の結果として製品開発につながった、あるいは開発途中の件数は5件ある。都の施設の充実等により、専門的な技術相談対応から、補助金等申請支援相談や技術情報提供等へ重点を移し支援することができた。また、産学連携によるマッチング支援として2社の交流あつ旋を行い、市内産業の振興を図った。</p>
【令和元年度における取組など】	
<p>①他市における同様の制度内容を鑑み、設備資金における自家用自動車として登録する車両を購入する場合に設定されていた上限期間（5年）を撤廃し、利便性の向上につなげる。</p> <p>市では、平成30年7月に生産性向上特別措置法に基づく「府中市導入促進基本計画」を策定し、国の同意を得ている。これにより、中小企業における「先端設備等導入計画」の策定が進んでおり、先端設備の導入に係る設備資金の申込の増加が期待される。</p> <p>②イベント事業に対する補助を継続して行うことで、商店街の活性化等に寄与する事業を行う商店会への支援を継続していく。</p> <p>③補助金等申請支援相談や技術情報提供に重点を置き、支援を継続していく。また、むさし府中商工会議所と連携し、市内商工業者の相談拠点の一元化により、新たな支援を開拓していく。</p> <p>前述した「先端設備等導入計画」の策定による「ものづくり・商業・サービス高度連携促進補助金」等の補助金等申請支援相談や技術情報提供に重点を置き、支援を継続していく。</p>	

- ※評価 A：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。  
 B：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。  
 C：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。

### 3 進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評価	<p>①平成29年度からは4件の増加となり減少傾向からは反転したことが確認できる。しかし目標との数値差は大きく順調とは言い難い。申込件数が増加したことや新たな計画が策定されていることは地域経済の活性化に向けた好材料として捉えることができる。</p> <p>②目標には不足するものの、ほぼ横ばいの数値を維持しており順調に推移しているとみることができる。来年度以降にはなるが、市が補助金対象としている商店会が市内に48ある中で、補助金申請及び交付実績のある商店会が固定化されているのか、補助に向けた取組みの例等が付記されていると評価時の参考となることが考えられる。</p>
B	<p>③平成28年度から継続しての大幅増となり目標も達成することができた。前述の新たな計画策定による情報提供、支援による更なる進展にも期待が持てる。</p>

- ※評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。  
B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。  
C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

## 具体的な施策・重要業績評価指標(KPI)進捗状況評価票 (対象:平成 30 年度)

基本目標	1	市内産業の振興と起業・創業の推進による雇用の確保
基本的方向	2	起業・創業の推進による産業構造の多様化
具体的な施策	①	起業・創業の支援
主担当課	経済観光課、協働推進課	
施策概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 起業・創業に関する基礎知識や事例、各種補助金制度の情報などについて、相談体制を確保するとともに、セミナーなどにより、起業・創業希望者を支援します。</li> <li>・ 東京農工大学をはじめとする教育機関や市内団体等と連携し、コミュニティビジネスの立ち上げや、インキュベーションオフィスの活用も含め、商・工・農における起業や創業に関する多様な支援を行います。</li> </ul>	

### 1 重要業績評価指標 (KPI)

指標名	単位	現状	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度
		目標					
		実績	実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
① 起業・創業に関するセミナー参加人数	人	90					
		44	115	80	62	72	—
		/	A	B	B	B	
② コミュニティビジネスに関するガイダンス・個別相談の参加人数	人	24					
		6	24	10	28	80	—
		/	A	B	A	A	

※進捗 A：目標達成に向け、順調に進捗している。  
 B：やや遅れているが、概ね順調に進捗している。  
 C：遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

## 2 進捗状況評価（担当課）

【平成30年度の取組内容と評価】	
担当課 評価	①創業に関する基礎知識や事例、各種補助金制度の情報などについて、創業支援事業計画に基づく創業支援プロジェクト機関を中心とした相談体制を確保することができた。また、創業に関するセミナー及び実践創業塾・体験型創業塾については11回、延72人の参加があり、創業希望者の継続的な支援を行うことができた。なお、KPI①の参加人数については、年度ごとに増減があるものの、セミナーに参加された方のうち、実際に創業した人数はH27が8名、H28が6名、H29が13名、H30が23名と、概ね増加傾向にある。
B	②平成30年度より、コミュニティビジネス入門講座（ガイダンス）を市民活動センターの指定管理者が行い、各回でテーマを設ける、チラシを配架するなどの工夫により参加者数増加につながった。また、相談者のうち少なくとも1人がコミュニティビジネスの立ち上げにつながった。
【令和元年度における取組など】	
①創業に関する基礎知識や事例、各種補助・制度の情報などについて、創業支援プロジェクト機関を中心とした相談体制を確保していく。また、創業支援プロジェクト機関における創業に関するセミナー及び創業塾の開催を継続し、創業希望者の支援や創業希望者どうしの交流の場をつくっていく。	
②入門講座（ガイダンス）の内容を改良し、事業計画書作成ワークショップなど起業・創業につながる実践的な学びとなるよう工夫する。また、起業・創業に関連する各種組織との連携を検討し、コミュニティビジネス立ち上げ支援の質の向上を図る。	

※評価 A：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。

B：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。

C：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。

## 3 進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評価	①起業・創業に関するセミナー人数はH29年度の62名に比べ72名と増えており、創業希望者の実態に合わせ参加しやすい日時や回数を設定するなど、さらなる目標達成に向けた取組を期待したい。 なお、KPIの評価はBが続いているが、実際に起業した人数が増加傾向にあることは評価できる。
B	②目標を上回る実績になっているため、その取組の成果が出ていることは評価できる。実際のコミュニティビジネスの立ち上げにつながるよう、創業支援プロジェクト機関と連携するなど、さらなる起業家の増加を期待したい。

※評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。

B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。

C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

## 具体的な施策・重要業績評価指標(KPI)進捗状況評価票 (対象:平成30年度)

基本目標	2	定住促進に向けたにぎわいの創出とふるさと意識の醸成
基本的方向	1	府中の魅力を活かしたにぎわいの創出
具体的な施策	①	市の魅力を高め、知名度を向上させる活動の推進
主担当課	経済観光課、広報課	
施策概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や市内の事業者、企業、学校等と連携を図り、市の魅力を発信して、来訪者の増加を図ります。また、市民に対しては、市の魅力を再認識してもらい、住み続けたいと思う市民を増やします。</li> <li>・府中市の魅力を再発見を行政だけでなく、市民、各種団体等と協働で取り組み、「武蔵国 府中大使」や様々な機会・媒体を通じて発信し、にぎわいの増進を図ります。</li> </ul>	

### 1 重要業績評価指標 (KPI)

指標名	単位	現状	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		目標					
		実績	実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
① 京王線府中駅における1日の乗降人員	人	現状値以上					
		85,279	86,949	88,100	90,224	90,316	—
		/	A	A	A	A	
② 市政情報を容易に入手できないと感じる市民の割合	%	15.0以下					
		17.7	17.3	17.4	17.0	16.6	—
		/	B	B	B	B	

※進捗 A：目標達成に向け、順調に進捗している。  
 B：やや遅れているが、概ね順調に進捗している。  
 C：遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

## 2 進捗状況評価（担当課）

【平成30年度の取組内容と評価】	
担当課 評価	<p>①漫画「ちはやふる」とのコラボイベントとしてキーワードラリーを実施した。武蔵国府中大使を活用した観光PR冊子「府中に夢中」をリニューアルした。また、ラグビーワールドカップ2019や東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を見据え、外国人観光客をターゲットとした、海外向けPR動画作成と成田国際空港デジタルサイネージへの掲出、インフルエンサー招致、英語版フェイスブックの開設や訪日リピーター数の多い台湾・香港向け観光情報サイトへの記事掲出など、インバウンド向け情報発信事業を実施した。</p> <p>②広報紙を予定どおり発行し、拠点配布として、ファミリーマート（サークルK・サンクス）、セブンイレブン、東京外国語大学、東京農工大学などで配布したほか、行政情報アプリ「マチイロ」に掲載した。ホームページを適正に管理・運用した。メール配信サービス、市・ふちゅこまのツイッターを積極的に活用した。テレビ広報を予定どおり製作・放映した。</p>
B	
【令和元年度における取組など】	
<p>①引き続き、国際的な大会により増加が見込まれる外国人観光客に対する、おもてなし体制の強化を図る。ラグビーワールドカップ期間中などに、府中駅に英語での対応が可能な臨時観光インフォメーションセンターを設置するほか、東京スタジアムの試合開催日に、多磨駅で外国人を含む観光客に本市をPRするおもてなしブースを展開する。期間中、けやき並木通りでイベントを実施する日などに、ラグビーチケットホルダー向けに記念切符を配布し、本市中心部への誘客を図る。また、例年実施している京王線・南武線・国分寺市との連携事業等も引き続き実施していく。</p> <p>②広報紙・テープ広報の年36回発行、ホームページの適正な管理・運用、メール配信サービス及びツイッターの管理・運用、テレビ広報を年36本製作・放映、市マスコットキャラクターの管理・運用、わたしの便利帳を作成・全戸配布を行う。</p> <p>特集記事を掲載するスペースを確保できるよう、掲載内容を精査し、記事の記載方法を変更する。広報紙にホームページのQRコードを掲載し、広報紙とホームページを連動して活用する。</p>	

※評価 A：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。

B：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。

C：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。



### 3 進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評 価	<p>① 過去3年毎年千人前後増加してきた府中駅の1日の乗降人員は、30年度は約百人の増加にとどまったものの目標はクリアしている。</p> <p>施策面では、市のホームページは周辺の他市のものと比べるとまだ硬い印象があるが、トップに国内向けには棟方志功展の紹介や、海外向けPR動画へのリンクが設定され、英語の機械翻訳もレベルアップしている、などインバウンド向け情報発信が強化されている。</p> <p>観光協会のホームページについては機械翻訳のレベルアップか、機械翻訳の限界を踏まえた日本語原文の調整が必要と考える（例、ミニツアーが「minitsua-」と訳されているのを、原文にミニツアー（短いガイド）と注をつけるなど）。</p>
B	<p>② 市政情報の入手しやすさの数値については徐々に改善しているが、改善ペースは不十分である。目標達成には今年度に計画されている「わたしの便利帳」の全戸配布、など相当の対策強化が必要である。</p> <p>アンケート全体の数値もさりながら、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中で市の将来像を考えると30代、子育て世代に焦点を絞ったアンケート結果の分析とそれに基づく対策（情報発信を含む）も重要と考えられる。</p> <p>■協議会評価としては①、②併せてBとする。</p>

- ※評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。  
 B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。  
 C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

**具体的な施策・重要業績評価指標(KPI)進捗状況評価票**  
(対象:平成30年度)

基本目標	3	若い世代の出産・子育てへの希望の実現
基本的方向	1	若い世代が安心して出産や子育てができるまちづくり
具体的な施策	①	安心して妊娠・出産できるサポート体制の充実
主担当課	子育て応援課、子ども家庭支援課	
施策概要	・妊娠期からの子育て不安の解消に向けて、適切な情報提供を行うとともに、各種健診や教室などを実施します。また、出産前後の家庭の育児や家事を支援し、出産に係る母親の負担感の軽減を図ります。	

**1 重要業績評価指標 (KPI)**

指標名	単位	現状	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		目標					
		実績	実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
① Fu-CHU こそだてサイト「ふわっと」アクセス数	人	現状値以上					
		24,807	26,924	23,887	50,146	59,276	—
			A	B	A	A	
② 産前産後家庭サポート事業の新規登録世帯	世帯	現状値以上					
		213	224	220	213	269	—
			A	A	A	A	

※進捗 A：目標達成に向け、順調に進捗している。  
 B：やや遅れているが、概ね順調に進捗している。  
 C：遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

## 2 進捗状況評価（担当課）

【平成30年度の取組内容と評価】	
担当課 評価	<p>①子育てサイト及びアプリの適切な運用を図った。また、子育てサイトに多言語翻訳機能を搭載し、外国人を含め幅広く出産や子育ての支援に関する情報提供を行い、育児に係る不安解消等を図った。</p> <p>②産前産後家庭サポート事業のリーフレットを改訂して母子健康手帳交付時に配布したことにより利用者が増加し、より多くの育児不安を抱える保護者にきめ細やかな支援を提供し、育児に係る不安解消等を図った。</p>
A	<p>※全妊婦を対象に、妊婦健康診査、超音波検査、HIV抗体検査、子宮頸がん健診の費用助成（対象者1,927人、延べ23,281件）をした。母親学級を年11回、両親学級を年11回実施し、延べ796人の参加があった。離乳食教室、年51回（参加者延べ1,376人）、親子の歯みがき教室年12回（参加者延べ221人）を実施した。必要時、妊娠届、健診、教室から助産師及び保健師の相談や訪問につなげた。また、子育て世代包括支援センターを設置し、妊娠届出時に全妊婦に看護職等による面談を実施し、母子の保持増進及び安心して子供を産み育てるための環境づくりを充実させた。</p>
【令和元年度における取組など】	
	<p>①市民がより情報を得やすくなるよう、子育てサイト及びアプリの適切な運用を行うとともに、リーフレットの配布を行うほか、メール配信サービス等様々な媒体によりさらなる情報提供に努める。</p> <p>②引き続き、産前産後家庭サポート事業の実施により、育児不安を抱える保護者にきめ細やかな支援を提供し、育児不安の解消を図る。</p> <p>※引き続き、子育て世代包括支援センターとして、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を充実させていく。</p>

※評価 A：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。

B：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。

C：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。

### 3 進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評 価	<p>① 子育てサイト及びアプリが充実し、子育てサイトの多言語翻訳機能が整備されたことにより、外国人を含め幅広い情報提供の増加に結びついたことは評価できる。さらに、より多くの育児不安を抱える保護者をきめ細やかな支援につなげるためには、多くの情報から適切な支援を選択してくれる総合的なウェブサービスを設置し、育児に係る不安を速やかに解消する機能をつくっていく必要があるのではないか。</p> <p>② 産前産後家庭サポート事業は、リーフレットを改訂し、配布が増え、利用者が増加したことで、身近に子育てや不安を孤立させない支援が進められ、利用者の増加がみられたことは評価できる。一方、利用者が増加することにより、今までの2事業者だけでは、対応できなくなっていると聞いた。受け入れる事業所を増やし、安心して妊娠・出産できるサポート体制の充実と、子育て世代包括支援センター機能の更なるワンストップ化を求めたい。</p>
A	

- ※評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。  
 B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。  
 C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

**具体的な施策・重要業績評価指標(KPI)進捗状況評価票**  
(対象:平成30年度)

基本目標	4	地域とつながる安心な暮らしの確保		
基本的方向	2	地域コミュニティの活性化		
具体的な施策	②	空き家などの活用		
主担当課	環境政策課	関連課	住宅勤労課、地域コミュニティ課	
施策概要	・空き家や空き店舗などは、地域活動に活用できる重要なストックであることから、これらを有効活用し、地域コミュニティ拠点の整備などを目指します。			

**1 重要業績評価指標 (KPI)**

指標名	単位	現状	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		目標					
		実績	実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
① 空き家等を活用した コミュニティ活動 事例	人	実施					
		未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	—
			C	C	B	B	

- ※進捗 A：目標達成に向け、順調に進捗している。  
 B：やや遅れているが、概ね順調に進捗している。  
 C：遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

## 2 進捗状況評価（担当課）

【平成30年度の取組内容と評価】	
担当課 評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度は、空き家を予防する観点から適正管理の重要性と、空き家になったことに伴う、近隣への影響を多くの市民の方に理解してもらうために、空き家に関するセミナーを延べ5回（うち1回は、調布市、府中市、狛江市の3市連携）開催した。また、同じく空き家対策実施の必要性を啓発するため、DVDを使った勉強会を3回開催し、延べ約200名（うち、120名は府中市）の方の参加があった。</li> </ul>
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>さらに、空き家等の有効活用を促して地域コミュニティの活性化に向けた取組みを進めるためにも、セミナー終了後に売却、賃貸、除却等の利活用も含めた無料相談会を延べ4回実施し、20組以上の空き家の所有者の参加があった。</li> </ul>
【令和元年度における取組など】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>空き家の利活用について、府中市空き家等対策計画に則り、空き家対策は所有者等による自己管理にあるという原則との整合を図りながら進めていく。</li> <li>前年度に引き続き、空き家に関するセミナーや相談会の実施を継続することで、より多くの市民の方に、空き家に関する理解を深めていただき、利活用等につなげていく。</li> </ul>	

- ※評価 A：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。  
 B：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。  
 C：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。

### 3 進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評 価	<p>・平成30年度は、空き家に関するセミナー、DVDを使った勉強会などを開催し、延べ約200名の参加があり、セミナー終了後の無料相談会では、20組以上の空き家の所有者が参加し、空き家の活用に関する知識の習得につなげたことにより、更なる空き家対策等推進及び啓発、活用が進められることを期待したい。</p>
B	<p>・さらに、空き家を活用したい方々向けのセミナー開催を継続し、目標達成に向けて、空き家等を活用したコミュニティ活動の具体的な施策が進められることを期待したい。</p> <p>※平成30年12月に“World Habitat Awards”「最優秀賞」を受賞したNPO 法人「リトルワズ」(東京)の取組を紹介する。</p> <p>リトルワズは2012年より母子家庭を対象にした居住支援を実施し、住宅を提供するだけでなく、生活の支援を同時に行い、母親と子供の生活に貢献している。また、社会問題である空き家も活用し、リノベーションして、住めるような住宅にしたり、物件所有者にも活用を提案している。東京都をはじめとした行政機関、不動産専門企業、地域団体とも連携しながら、母子家庭に住まいを提供し、6年間で300世帯以上を支援した。</p> <p>(リトルワズ ホームページ、2019年1月22日朝日新聞記事より引用  <a href="https://ameblo.jp/littleones/entry-12425763756.html">https://ameblo.jp/littleones/entry-12425763756.html</a>)</p>

- ※評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。  
 B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。  
 C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

## 具体的な施策・重要業績評価指標(KPI)進捗状況評価票 (対象:平成 30 年度)

基本目標	4	地域とつながる安心な暮らしの確保
基本的方向	1	みんなが安心して暮らせる地域づくり
具体的な施策	②	公共施設・インフラの計画的な管理及び運営
主担当課	建築施設課、管理課、公園緑地課	
施策概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設マネジメントの取組として、公共施設の最適化と計画的保全に努め、市民が将来にわたり良好な環境で施設を利用できるよう努めます。</li> <li>・老朽化が進むインフラ（道路・公園等）を長期にわたり安全に管理していくため、インフラマネジメント計画に基づき、推進します。</li> </ul>	

### 1 重要業績評価指標 (KPI)

指標名	単位	現状	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度
		目標					
		実績	実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
① 公共施設の市民 1 人当たりの延床面積	㎡/人	現状維持					
		2.52	2.49	2.48	2.60	2.53	—
		/	A	A	B	B	
② 公園や都市緑化で緑あふれるまちとしての市民満足度	%	74.0					
		70.3	70.0	70.6	71.1	68.3	—
		/	B	B	B	C	

- ※進捗 A：目標達成に向け、順調に進捗している。  
 B：やや遅れているが、概ね順調に進捗している。  
 C：遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。



## 2 進捗状況評価（担当課）

【平成30年度の取組内容と評価】	
担当課 評価	<p>①第2次府中市公共施設マネジメント推進プランに基づき、各施設において、最適化と計画的保全の取組を着実に実施し、順調に進捗している。当該プランにおいて、市民保養所「やちほ」と八ヶ岳府中山荘、生涯学習センターの宿泊施設を対象とするモデル事業3「宿泊機能・サービスの今後の在り方」については、有識者や公募市民等で構成する検討協議会にて検討を行い、検討結果をまとめた報告書を受理した。また、保育所と学童クラブ、子育て支援センター「たち」を対象とするモデル事業4「包括管理業務委託による公共施設の維持・保全」については、令和元年度からの試行的な実施に向けて、関係課等と協議・調整を行った。</p> <p>②社会情勢の変化などから見直した、府中市インフラマネジメント計画（2018年度）の取組として、日常の維持管理業務などを民間事業者へ委託する道路等包括管理事業（北西地区）の試行、インフラマネジメントを市民に周知するためのシンポジウムの開催、ペDESTリアンデッキの点検、50か所の公園調査に基づく府中市公園施設長寿命化計画の策定、府中市緑の基本計画2009の改定に向けた協議会等での検討などを行った。また、安全性の確保、樹木の健全な育成、良好な環境と景観の形成などを考慮し、街路樹の定期的なせん定、間引きや公園等の樹木のせん定、間引き、枯損木の伐採など、適切な維持管理に努めた。</p>
B	
【令和元年度における取組など】	
	<p>①モデル事業3「宿泊機能・サービスの今後の在り方」については、協議会から受理した報告書を踏まえて、関係課や関係団体と調整を行い、基本方針を策定する。また、モデル事業4「包括管理業務委託による公共施設の維持・保全」については、試行的な実施を行い、その効果の検証を行う。</p> <p>②府中市街路樹の管理方針に基づき、街路樹の適切な維持管理に努めるとともに、府中市インフラマネジメント計画（2018年度）の取組として、道路等包括管理事業（北西地区）の評価準備及び見直し検討、ペDESTリアンデッキの長寿命化修繕計画の策定、府中市公園施設長寿命化計画に基づく更新工事の進行管理を行う。また、今年度中に府中市緑の基本計画2009の改定を行うとともに、既存の緑の保全や質の高い空間づくりを進めるため、樹木などの適切な管理を行い、周辺環境や特徴を踏まえた緑化を推進する。</p>

- ※評価 A：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。  
 B：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。  
 C：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。

### 3 進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評 価	<p>KPI①公共施設の市民1人当たりの延床面積については、2.53㎡/人と現状を維持しており、目標達成に向け概ね進捗していると評価できる。</p> <p>平成30年度を取組を見ると、第2次府中市公共施設マネジメント推進プランに定める「宿泊機能・サービスの今後の在り方」についての検討協議会を設置し検討が進んでいること、および他の公共施設を対象とする次年度に向けた関係各所との調整に着手していることから、公共施設の最適化と計画的保全の取組は進展しており、進捗状況は概ね良好であると評価される。</p> <p>また、インフラマネジメント計画に基づき、市民向けシンポジウムの開催のほか、維持管理のための施策を行っている。しかしながら、KPI②公園や都市緑化で緑あふれるまちとしての市民満足度は、68.3%と前年度比低下し目標値との乖離が大きくなったことから、現状の施策を通して目標を達成することが難しいと考えられる。</p> <p>以上から、取組は着実に実施しているものの、満足度の向上には課題があり、施策の工夫等に努めることが期待される。</p>
B	

- ※評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。  
 B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。  
 C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。